

# 道サービス指標の成果目標と達成度

## 達成度評価の視点

2つの視点で評価します

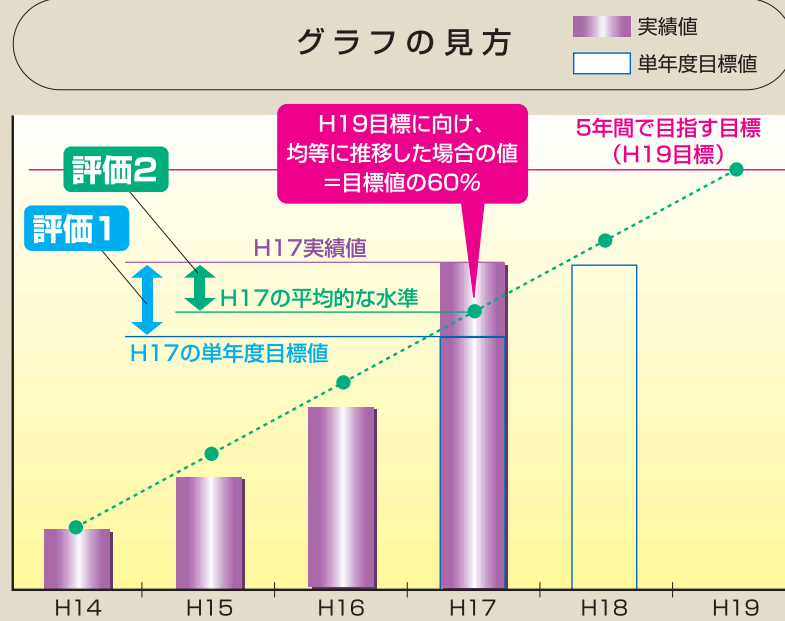
### 評価1

平成17年度の単年度目標(青)に対する実績(紫)の達成度を評価。

### 評価2

5年間で目指す目標の中で、平成17年度の平均的な水準(緑)に対する実績(紫)の達成度を評価。

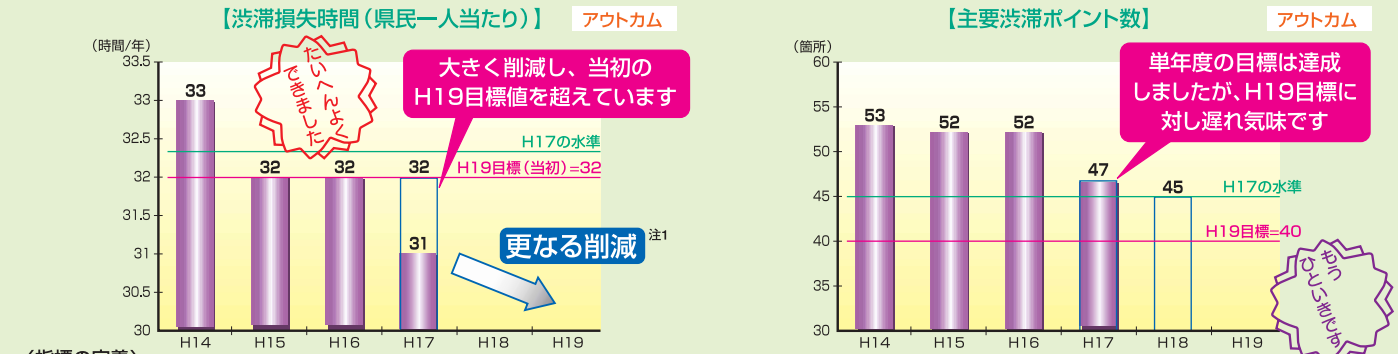
### グラフの見方



道サービス指標の評価については、事業の実施によって得られた効果(アウトカム)で評価するものと、事業そのものの整備進捗(アウトプット)で評価するものと、使い分けています。

平成17年度の評価	評価方法	アウトカム	アウトカム	アウトカム	アウトカム
評価1: H17単年度目標 →	H19目標を達成	達成	達成	未達成	未達成
評価2: H17で必要な水準 →	目標を達成	達成	未達成	未達成	未達成

## 2 渋滞

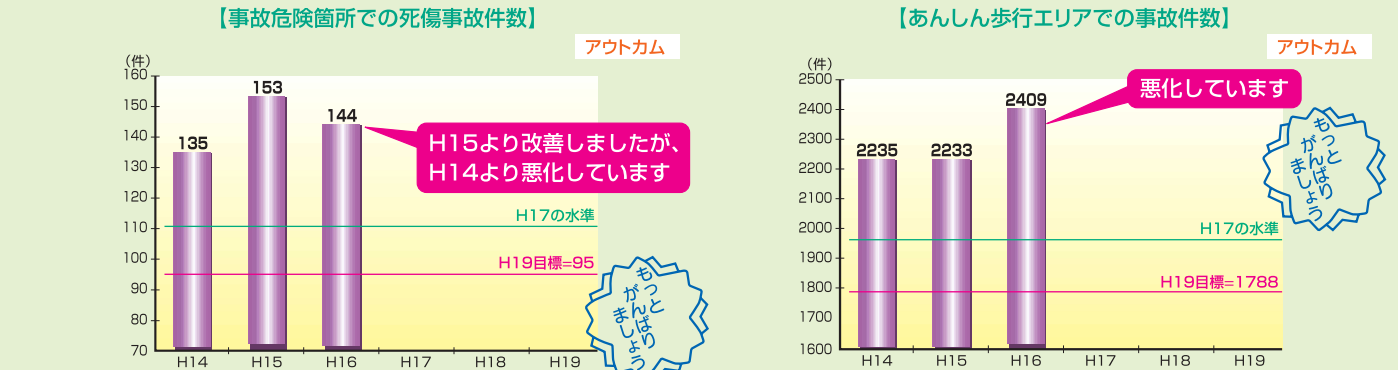


＜指標の定義＞

渋滞損失時間	渋滞損失時間は、渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間との差とします。対象道路は国道、県道。県民一人当たりは、上記渋滞損失時間を平成12年国勢調査の宮城県総人口で除した値。年間31時間は1日当たり約5分に相当
主要渋滞ポイント数	以下の主要渋滞ポイントの定義に該当する箇所数 DID地区内: 渋滞長1000m以上または通過時間10分以上 DID地区外: 渋滞長500m以上または通過時間5分以上 (DID地区とは、人口5000人以上を有し、人口密度が4000人/km <sup>2</sup> 以上の地区)

注1: 渋滞損失時間のH19目標(32時間/年)をH17で達成したため、H18は更なる削減を目指すこととしています

## 3 安全・安心

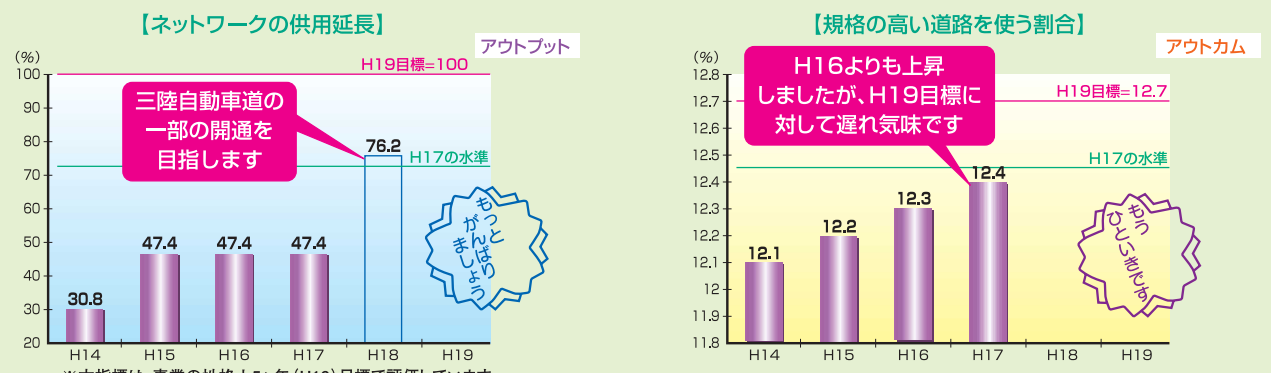


＜指標の定義＞

事故危険箇所	事故危険箇所は死傷事故に遭う確率が、幹線道路の全国平均の5倍以上の箇所等を選定。指標値はその箇所発生した死傷事故件数を計上
あんしん歩行エリア	あんしん歩行エリアは単位面積当たりの死傷事故発生割合の高い地区から選定。指標値はそのエリア内で発生した死傷事故件数を計上

※実績は1年遅れでの取得を行っています

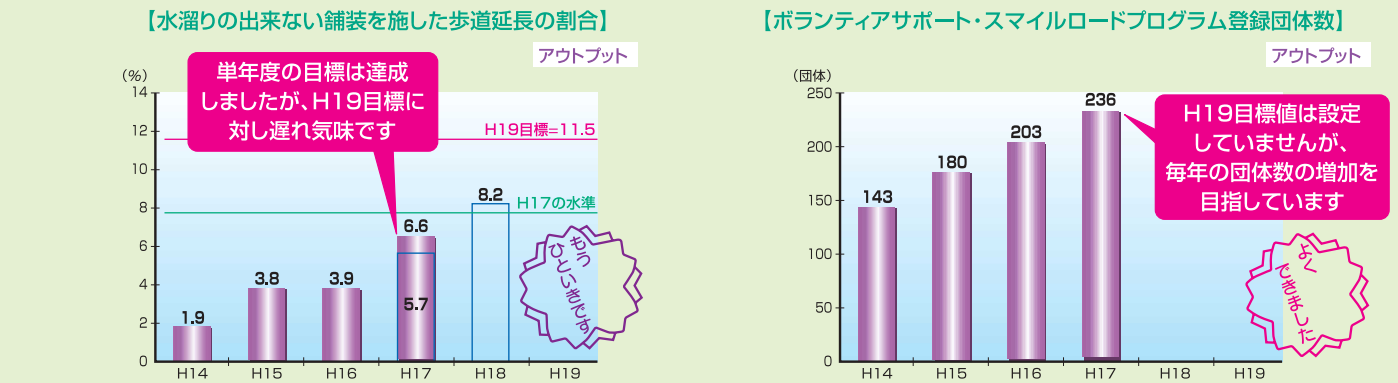
## 1 ネットワーク



＜指標の定義＞

ネットワークの供用延長	工事の進捗状況を供用延長で示しています。対象となる事業は、県内の高速道路
規格の高い道路を使う割合	宮城県内の高速道路や自動車専用道路を使った車の総走行距離と、県内を走行する車の総走行距離との割合(1日あたり)

## 4 道路環境



＜指標の定義＞

水溜りが出来ない舗装を施した歩道延長の割合	仙台市内街路のうち排水性舗装および透水性舗装が整備されている歩道延長の割合
ボランティアサポート・スマイルロードプログラム登録団体数	ボランティアサポートプログラム(国土交通省)、スマイルロードプログラム(宮城県)のそれぞれの登録団体数